大正九年十二月十四日　第三種郵便物認可

夕刊

新京日日新聞

定價　一部　金三錢　一個月　金八十錢　一個月　金五十錢　郵稅
新京永樂町四丁目一番地
發行所　新京日日新聞社
電話　二二五・三三〇〇番
發行人　十河榮忠
編輯人　松本勇
印刷人　谷七二郎

丁士源氏起用のアグレマンに對し近く承諾回答
赴任は五月末ごろ

〔東京十日發國通〕滿洲國政府は駐日公使として丁士源氏を起用するをさなり最近外務省へアグレマンを要求して來た、よつて目下外務省では之が措置を講究中であるが、丁士源氏の任命は何等差支へなきを以て近く正式に承諾の回答を發する事となつた 尚丁士源氏の正式赴任は五月末となる模樣である

十五日の紡績聯合會

〔大阪十六日發國通〕日印條約廢棄問題で紡績聯合會は昨日午後綿業會館に開催され、之が對策を協議したが、意見百出し最後決定に到達せず、十八日午前十時東京工業俱樂部で委員會を開催し、最後態度を協議決定する事となつたが、大体左の如き解釋を執つて居る

一、政府の積極行動を懇請して爲替關稅の設定を可及的に最低限度に止めしめる
一、印棉不買も一抗議法だが抽象論を捨て十八日の協議會で再協議する
一、印度貿易者を糾合して條約に抗議運動する
一、爲替關稅率の程度如何では紡績業は根本的に經營法の變革を要し重大問題を各委員が研究すること

小學校授業料減免の範圍擴大
文部省令で近く公布

〔東京十六日發國通〕戰死者の子弟に對する小學校授業料免除を規定せる明治廿九年勅令第五號を改正し授業料免除又は減免の範圍を擴大することは文部省多年の懸案であつたが、鳩山文相は右勅令の改正によらず而も勅令の精神に則つて授業料免除の適用範圍を擴大した小學校施行規則改正省令を近く公布實施する事となつた、其の要綱は

一、戰爭又は戰爭に準ず可き事變に從軍した者にして公務のため死亡した者並に傷痍を受け若は疾病にかゝり恩給法による恩給又は雇員扶助令傭員扶助金による療治料を除く扶助金を給せられ、又は給せらるべき者の同一戸籍內にある子弟妹に對しては授業料を免除すべし
二、下士官以下の軍人にして戰時平時に拘らず公務のため死亡した者並に傷痍を受け又は疾病に罹り恩給法による恩給を給せられ又は給せらるべき者の同一戸籍內にある子及弟妹に對しては授業料を免除すべし
三、戰爭又は戰爭に準ずべき事變に際し公務により從軍した者の同一戸籍內にある子及弟妹に對しては從軍中授業料の全部又は一部を免除する

等の諸點である

英國下院の反獨論に
ドイツ政府抗議提出

〔ベルリン十六日發國通〕十三日英國下院で元外相チエンバーレン、元藏相チヤーチル氏の反獨聲明に對して、ドイツ政府は十五日英國政府に正式抗議を提出した右に關しベルリン夕刊各紙は何れも政府の處置を是認し英國の反獨的態度を攻擊、左の如く述べてゐる、軍縮會議に獨代表を派遣するも今や無益である、英國下院のドイツに對する討論はドイツの敵、就中ポーランドフランスから見てその侵略政策を干涉するものと解釋するに違ひない

國有鐵道の連絡統制に
從業員養成機關を設置

〔奉天十五日發國通〕滿洲國有の九鐵道を鐵路總局が如何に連絡統制するかは總局に課せられた重要任務であり又非常に困難を伴ふ事業であるが滿洲國々有鐵道の現狀は制度組織の不備完はもとより從業員の質の劣惡さが鐵道の發達を妨げつつあり總局が各鐵路の連絡統制を圖るためには從業員の質の改善が急務なる點に鑑み來たる十八日開催される局長會議に附議して鐵道現業員養成機關設立を審議する筈である、總局側の腹案は大体滿鐵に現存する鐵道教習所と同樣な機關を設立し各鐵路從業員中の優秀なるものを選拔して各鐵路共同樣の鐵道實務を習得せしめる他日本及び鐵道先進國に留學生を派遣して鐵道の中堅人物を養成せんとするものである

小磯參謀長
滿洲の諸問題を語る

〔下關十六日發國通〕關東軍參謀長小磯中將は名越大尉を帶同し參謀長會議に出席旁々熱河平定後の工作等の重要件打合せのため十六日商船「アメリカ丸」で門司着、午前九時下關發急行で東上した、小磯參謀長は左の如く語る

關內に幾分進出して居るが、之は戰略上から出たもので追進する考はない、トランジツト問題は滿洲國として全部回收する目的で强硬に出て居るが之がため露滿國境は緊張して居る模樣は無い、滿洲のこれからは政治工作もする事ながら產業工作が必要である、從來支那の逆宣傳で迷はされて居た諸外國の滿洲國に對する認識は兎角不足勝ちであつたが今回の熱河討伐には外國新聞記者が從軍して精密な報道をしてゐるから諸外國の認識不足も容易に是正されたやうで、今後諸外國との貿易も大いに進捗すると思ふ

地方長官會議に於ける外相の訓辭

〔東京十六日發國通〕內田外相は明十七日午前總理官邸の地方長官會議席上、外相として訓辭を爲すが、內容は左の通りである

一、聯盟脫退により我國際地位は困難を來すやうに考へられて居たが今日の情勢は何等不安なし
一、然りと雖も我國際地位を顯示するために擧國一致、官民協力、將來の難關を打開すべきは勿論だ
一、外交問題の解決要諦は內政の整備にある故、內政不安を除去し、思想の統一が肝要である
一、これが爲めには、內治行政の任に當る地方長官が國際問題に理解を持ち、官民の指導宜しきを得よと從來の訓辭の型を破り、單に報告に止めず指針を與へた

稅務監督局長會議

〔東京十六日發國通〕大藏省では十七日より三日間丸の內中央會議所で稅務監督局長會議を開き黑田大藏次官以下全國稅務監督局長出席の上、稅制改正に關する意見、租稅の附加徵收に關する納稅者の希望及び對策につき協議するが政府でも稅制改正準備委員會を開き租稅体系の改革を爲すに決し居る爲、右會議の結果は期待されて居る

四洮鐵路局
警務分段改編

〔四平街支局發〕既報、四洮鐵路局警務課各管下警務分段の改編並に改稱は十五日より實施される事に成つた、從來の第一分段（鄭家屯）第二分段（太平川）第三分段（洮南）第四分段（通遼）は夫々鄭家屯分段太平川分段洮南分段通遼分段と改稱、尚四平街に警務課直轄の保安隊及び消防隊を設け警備と保安に當つて居たがこれを廢し四平街分段を新設する事に成つた

在滿朝鮮人の統制及統治上の私見（一）

李海曙（投）

緒言

在滿朝鮮人問題の重大性に就いては今更茲に區々たる理論を述べる迄でもないが、今日尚は其の統治に根本方針定まらずして、百萬同胞は路傍に迷つて落着くところを知らない狀態である。

由來の對朝鮮人政策なるものは事變前までは其の統治主體が日本政權の下にあつたと言へやうか、中國政權の下にあつたと言へやうか、兎に角曖昧不徹底であつたことは過去の事實が物語つて居る、而して結局不逞團が其の隙を狙つて實權を握ることとなり人民は塗炭の苦に陷る樣になつたのである

事變によつて從來の中國政權や不逞團の暴威は除去せられたにせよ、帝國の政策が徹底せざる限り彼等は到底生計を保ち能はざるのみならず、今後益々苦境に喘ぐのみである。

幸に最近帝國政府は大使館に、朝鮮班を設けたり朝鮮總督府よりは出張所を新京に置いたりして、朝鮮人問題を眞劍に扱ふ樣になつて來たのは何より喜ばしいことである

此の機會に臨み卑見ながら抱負を述べて當路者の參考に供すると共に吾人の希望の一端として諸賢に披瀝する次第である

一、政治統制機關

一、滿洲政府と朝鮮人

滿洲國は滿洲現住の五族を國民とし、門戶開放機會均等を宣言して地上の樂園を建設しつゝある、多年漂浪の民族として苦難壓迫に堪えられなかつた朝鮮人が其の一員に加へられた喜びは一通りでないのである。

斯く滿洲國は民族又は國籍問題を超越して王道の光に均浴せしめることになつて居るが、然らば今後の朝鮮人統治は滿洲國が之れに當るべきか若し斯樣になれば帝國政府として所謂二重國籍問題なるものを如何に扱ふべきかと云ふことは吾人の關心に離れたいところであるが、併し現實より見れば滿洲には特に帝國大使が駐在して居られ、日本臣民たるものは皆大使の庇護を受けることになつて居れば朝鮮人も當然日本內地人と同一なる步調で以て大局善處すべきものである。尚ほ籍は何れの國へ置くにしても滿洲國が我々に國民權を與へる以上、之れに報ゆべき義務を果すことは勿論、將來必要に應じては歸化の用意もなければならぬ

支那軍續々後方に敗退

逆襲の形勢に鑑み 我軍永平を攻撃占領

高田部隊續いて永平に入城

〔古北口十六日發國通〕永平、撫寧は今日迄の戰鬪に於て最後まで殘された敵の根據地にして相當多數の敵軍が居たが、最近に至り之等軍隊は逆襲の形勢に出でんとするので、之を一掃する目的を以て十五日攻撃を開始し午後三時永平は神代部隊の爲占領され、續いて高田部隊も永平に入城した

灤河一帶の支那兵 列車を準備逃げ仕度

〔山海關十六日發國通〕北寧鐵路方面よりの情報によると、灤河の支那軍は總退却中なるが之等軍隊の退却に使用する列車として灤州に七列車、留守營三列車、北戴河等に十三日以來各列車を集結待機せしめて居る

何柱國の殿軍

遂に總退却を開始

〔山海關十六日發國通〕何柱國の有力なる一部隊は數日前まで灤河の線に據つて居たが十四日以來續々退却を開始し、昌黎附近に集結中で從つて、昌黎附近は敵軍の退却に大混亂に陷りつゝある

鐵道を破壞せぬやう 開灤鑛務局警告

〔秦皇島十六日發國通〕秦皇島開灤鑛務局チルトルトン氏は十五日午後十一時突然灤州方面に急行出發したが、同氏西行の目的は支那軍に對する支那軍後退に當り、鐵道線路を破壞せざるやう警告するものと見られてゐる

宋哲元軍 同志打ち

十五日夜々襲して來た宋哲元の部隊は第五百二十二團と團汀莊で同志打をなした

韓復榘が 國難打開を提唱

南京政府代表會議に橫槍

〔長沙十六日發國通〕支那政局のキャスティング、ヴォートを握る韓復榘は十五日午後二時湖南省首席何鍵に宛て「この國難打開には擧國一致を要するから在朝と在野を問はず一堂に會し既往の行掛りを捨てゝ國是の大計を定めたい」と贊成を求めて來た、而して特に蔣介石、汪精衛、馮玉祥、閻錫山、陳濟棠、李宗仁の參加を要求して來た今まで實力を擁して動かなかつた韓がこの實行不可能な提議をなしたのは南京政府の代表會議に反對意見を有し、これを壞す爲めの橫槍を入れる準備と見られてゐる

飛行隊爆擊

古北口方面は十五日夜も赤盛に迫擊砲をもつて我軍の第一線を射擊し各所に信號彈を放つ等夜襲の兆候があつたので我部隊は敵の來襲を待ち徹底的の打擊を加ふるべく準備を整へてゐたが遂に來襲しなかつた、敵が戰場に遺棄した死體から判斷すればこの方面は第二□に屬するものと見られる、なほ十六日午前我飛行隊は石匣鎭の部隊に在る敵に對し爆擊をしたるに敵は多數の高射砲をもつて盛んに射擊を加へたが我飛行機は敵に多大の損害を與へて歸還した

米國製の 地雷火埋沒

服部々隊が突破した受益店の陣地は極めて堅固に構築されてゐたが附近の住民の話によれば某々外國人が指導したものであるといふ、陣地附近には觸發式、踏落式の多數の地雷火が埋沒してあつたが、火藥は主として米國製であつて

受益店附近の敵は退却に際し撤河橋附近の敵の督戰隊の爲に退却を阻止され加ふるに我軍の爲に退路を遮斷せられ河東南方に於て灤河を徒涉したが、某一連の如きは督戰隊の射擊と灤河の水流の爲に押流され右岸に達した者僅か四名であつた

總商會代表を派し 皇軍に治安維持を懇請

〔秦皇島十六日發國通〕支那軍撤退後の秦皇島は支那軍の掠奪暴行より免れたと久し振りに蘇生の思をなしてゐるが便衣隊の橫行と公安局長以下局員の逃亡により今尙ほ不安去らず、爲めに總商會代表及び公安局長代理等一行五名は十六日山海關〇〇隊に染谷隊長を訪問して支那軍撤退後の治安維持狀況を詳細に報告すると共に一般市民の希望により秦皇島の治安維持を日本軍に一任したいと嘆願して來た

南京政府が 閻錫山を 察、綏邊防總司令に任命

〔南京十六日發國通〕南京政府は十五日閻錫山を察哈爾、綏遠の邊防總司令に任命した

加屋中隊奮戰

古谷支隊は十五日朝東營附近に於て殘敵を驅逐し、何線へ進出したがこの戰鬪で米山部隊に屬する加屋中隊は勇敢に敵の陣地を奪取し多大の損害を與へた

天津方面謠言取締に 新聞檢查所設置

結局通信のみ檢査か

〔天津十六日發國通〕天津方面の動搖に伴ふ謠言取締りのため支那側は新聞檢查所を設けることゝなり、昨日午後二時全市の通信社の代表四十餘名を召集し、商議を重ねたが何等具體案を得ず、散會した此の上は市黨部で案を作成することゝなつたが通信だけを檢査することになる模樣である

妾騷動 平津を賑せる

〔天津十六日發國通〕北支の大軍閥が相次いで倒れ、所屬の軍隊には何應欽の手に整理或は懷柔策が施されて居るが彼等の擁して居た多數の姨太々には整理も懷柔も行はれぬと見えて妾問題が頻發する、湯玉麟の第一妾第三妾は連名で自分等が命より大事な首飾を天津に居る第五妾が橫領したとて返還を地方裁判所に訴へ出て居り、又張宗昌の第卅二妾が北平で藝者を始めたところ、妾群解散の際一人前三千元を與へ「天津を去つて堅氣の所へ結婚します」との契約違反だからとて三千元取消訴訟を提起された

秦皇島の 公安局長逃亡

〔秦皇島十六日發國通〕當地の支那軍は昨夜七時既に完全に撤退を了したが秦皇島公安局長は身の危險を感じドサクサ紛れに部下局員の三ヶ月分の給料を携帶した儘何れにか逃走した

秦皇島の 鐵道は安全

秦皇島の守備隊は十五日午後同地に在つた支那兵撤退後直に停車場に監視兵を出して嚴重な警戒を行ひ秦皇島には開灤鑛務局所屬の輪轉材料の外皆無であるが鐵道の運轉は秦皇島以西は差支なく同地の治安は鑛務局によつて維持せられて居る

皇軍に對し 心から感謝

建昌營、遷安附近の住民は各家に日章旗、中には滿洲國旗を立てて日本軍を歡迎し女、子供などはやすんじて田、畑に出で働き、極めて朗らかな風景を現してゐる、支那軍は我軍の前進迅速であつた爲掠奪の暇もなく物資は相當豐富で我軍に押收した支那軍の倉庫二棟には梨が充滿してあつた、この附近の住民は積年の戰禍に惱まされてゐるので、滿洲國の王道政治に浴して强力なる日本軍の援護を希望してゐる全般の空氣は寧ろ熱河省內よりも住民の日本軍に對する感情は良好に思はれる

馮玉祥は依然 南京政權を冷眼視す

〔張家口十六日發國通〕豫て國民政府より南京に來れと慫慂を受けてゐた馮玉祥は「余は死すとも此の地を離れず」と側近の者に語つたとのことである

彼は昨今國事を憂ふる餘り可成り身心共に疲勞してゐる、先月蔣の使者が彼を訪れた時彼は現下の時局に關する彼の意見を開陳した親展書を右使者に託して蔣介石に送つたが蔣は未だに回答を與へないと

王樹常を 北平防空司令に

〔北平十六日發國通〕北平軍事委員會分會では國民政府に打電して現平津警備司令王樹常をして北平防空司令を兼務せしめたいと通告した、

政界混沌裡に 重大局面を展開

首相の一蓮托生はなし

〔東京十六日發國通〕五・一五事件の後始末後高橋藏相の辭任は動かす可からざる成行きなりとされて居るが、齋藤首相は內閣改造の擧に出て一蓮托生總辭職する事はあるまいとの說が漸次有力となつて居る、然し一方には藏相が辭職せば政友閣僚は連袂辭任すべく首相が改造を意圖するも事實不可能であるとの觀測も行はれてゐる

尤も其の際大命再降下するかも知れぬ等諸說紛々として逆堵し難い情勢にあるが、最近重臣の意向なりとして藏相辭任政友閣僚が總辭職せば齋藤總理はこれに怖ぢず斷乎內閣改造を圖り議會を解散し總選擧を行ひ信を國民に問ふことこそ非常時內閣の重大使命であるとの聲が政界に傳はり居る事實は重大視さるべき點で、政友派議員中にも齋藤內閣と絕緣した場合議會再解散を恐怖して居る分子もあり、政界は混沌裡に重大局面を展開せんとしつゝある

政友政局の 變轉に備ふ・

―決行―

〔東京十六日發國通〕政局の動向に對し政友會首腦部は五・一五事件の豫審終結を以て現內閣成立の使命解消し首相一蓮托生の下に內閣總辭職をするものとなし、表面あくまで靜觀主義を裝つて居るが、政局の現狀は第一首相の眞意が改造か總辭職かの何れに存するか判明せず、更に首相を廻つて總理の側近者を始め民政黨系官僚の一部との間に內閣改造による延命運動猛烈に試みられ極めて微妙な情勢に置かれて居るので政友會としては豫定の事實とする政局の情勢並に首相の心境變化等により如何なる事態發生を見るもこれに對應すべく第一第二段の秘策を構へ政局の變轉に備へんとして居る殊に黨內の事情は極めて複雜で一步對策を誤らんか內部的紛糾も免かれず、惹いては總裁の黨內統制問題をも『惹起』すべき危險性があるので、黨首腦部の時局監視の態度は必死的眞劍味を加へるに至つた

對支外交は 當分靜觀主義

〔東京十六日發國通〕有吉公使は來る二十日午前九時せい子夫人、須磨書記官を提伴して東京驛發、二十二日午前十一時長崎丸で神戶發歸任するが、有吉公使は內田外相と協議の結果、支那內政の歸趨を待たずに我國が焦慮して外交活動を起すは支那內政の混亂を助長するのみで益なき故我國としては當分靜觀するとの意見の一致を見た模樣で、公使は歸任後も積極的に活動せぬと觀測される

國民黨全國會 廣東派は絕對反對

決議は一切認めぬと決議

〔北平十六日發國通〕香港からの電報によると來る七月一日南京にて開かれる特別國民黨全國會議に對し南方要人は結束して反對を續け西南政治の分會では昨日緊急會議を開き該全國會議に一名も代表を送らぬことを決定し且全國に通電を發して全國會議での決定事項は廣東側にて一切承認せざる旨を表明する筈である

市民頻りに 皇軍の治安維持を要望

〔秦皇島十六日發國通〕當地公安局員は支那軍の撤退と局長の逃亡により動搖を來し、昨夜中にその大半は逃亡し、これがため市中の治安は鑛務局委員の手によつて辛うじて維持されてゐるが、總商會をはじめ支那側有力者は尙ほ不安を感じ日本軍に對し治安維持方を希望した

れるが如き總辭職の理由は目下の處認められず、藏相の辭職が實現されても直に總辭職の理由とはならないと觀られて居る

貴院各派の 政局觀測

〔東京十六日發國通〕貴族院は前議會に於て外交、財政、思想に關し政府鞭撻決議案を各派一致、提出の下に滿場一致通過せしめて、貴族院の意のある處を明瞭にした爲、政府は院議を尊重し、稅制整理委員會、思想對策調查會を設置し、眞面目に調查研究の上、具體案作製、善處せんとし又外交に於ては外交調查會の如き機關を設置するより、當局者が全責任を以て當るを妥當として居るが、貴院各派は政府の處置を諒とし、各會、派に於て又は個人的に夫々資料を得て政府に進言せんとの好意振を示さんとする意向强く、從つて非常時未解消の今日では議會で相當の成績を收めた齋藤內閣を今後更に鞭撻督勵貴院の決議案の趣旨を貫行せしめんとする向多く、傳へら

根本案の打合せに 貴志氏內地へ

過般來京、國家的イデオロギーの下に滿洲國の經濟建設を確立するべく、愛國的資本家を糾合、營利を目的としない國家的或は社會的有望な滿洲國の各種企業會社に投資する一つの大きな投資會社を設立する爲各方面と折衝奔走中であつた大阪三品取引所專務理事貴志彌四郞氏は當地に於ける交涉一段落を遂げたので十六日午後四時三十分內地へ向つたが同氏は驛頭で語る

今の處何にも申上げられない、新京に於ける各方面との折衝が大體終つたのでこれから東京へ行き陸軍省と打合をなし、又大阪では橫田大佐等と充分想談をしたいと思つてゐる今回の東京大阪の話さへつけば愈よ本格的に具体化し諸君にも發表出來ると思ふ途中奉天に立寄り大連より二十日の船で歸へる積りだ、まあ今後とも宜しく賴む

芳澤前外相 十六日大連着

〔大連十七日發國通〕南支視察の芳澤謙吉氏は昨日正午天長丸で入港した、二泊し新京に向ふ筈である

鐵道封鎖復舊交涉を 蘇聯側より提議

李督辦一蹴し去る

〔ハルビン十六日發國通〕東鐵副理事長クヅネツオフ氏は昨日午後二時督辦公署に李督辦を訪問して露領內の貨車は漸次返還し居り近く三千輛の抑留貨車も返還するを以て封鎖の復舊に關する交涉を開始したい、と申入れたが李督辦は機關車、貨車全部を返還せねば應ぜられぬと一蹴した

ポグラに監視所 を設け 貨車引込み を警戒

〔ハルビン十六日發國通〕東鐵露國側幹部は東部國境ポグラニチナヤに於て引續き貨車をウスリー線へ拉去せんとする形勢にあるので滿洲國交通部はこれを阻止するためポグラニチナヤ驛に監視所を設けて列車を監視していゐが今日までの所ウスリー東鐵間の協定により通過貨客の運輸は順調に行はれてゐる

小磯參謀長 東京着

〔東京十七日發國通〕小磯參謀長は今朝八時陸軍關係並びに滿洲關係者多數の出迎を受け東京驛に到着した

滿洲國から蘇聯側に 四百萬金留の

引込み車輛使用料を要求

〔ハルビン十六日發國通〕露國が露領に拉去した東鐵の機關車、客車、貨車に對し滿洲國は遲滯なくこれが返還を要求し露國は機關車を除き車輛の返還に同意してゐるが、右に對し滿洲國側は

一、機關車一臺の一日の使用料八金ルーブル
一、貨車一臺の一日の使用料三金ルーブル

を要求し、その總額は約四百萬金ルーブルの巨額に達してゐる

尙ほ右使用料の支拂期日並に車輛の返還期は確定してゐないが本問題は結局露國の讓步により圓滿な解決を遂げるものと解せられてゐる

八區賃貸問題 交涉中絕

〔ハルビン十六日發國通〕松花江の解氷期も切迫したが航務局と東鐵商業部との八區の埠頭賃貸問題に關する交涉は又復中絕するに至つたが航務局では東鐵露國側首腦部の態度煮切らざるため松花江の流氷と共に右埠頭を自營する方針である

青島の碼頭 稅輕減の爲

沈鴻烈氏濟南へ

〔濟南十七日發國通〕十六日青島より來濟した沈鴻烈氏語る

「山東の輸出品たる棉糸、米落花生、落花生油等については本年は歐州向、香港向に大別して課稅する、青島には現在米五百萬噸、落花生油二百萬噸の滯貨あり、これに對する碼頭稅輕減の爲め韓復榘主席と懇談する考へだ」

南方排日は 漢口が中心

〔南京十六日發國通〕最近南京方面に於ける排日の情況は漢口附近が最も猛烈を極めてゐるが、逐次各方面に傳播しつゝある、今般の排日は從來に比較して非常に組織堅固なるもので、其手段は悪辣且つ陰險なるものあり、其根據を調査せしに蔣介石の指揮者が主體となり强力なる隊を組織活動して居る

熱河兵匪掃蕩 時に於ける 各艦隊の 警備情況

〔東京十六日發國通〕海軍では熱河兵匪掃蕩に際し帝國海軍の執りたる警備情況につき昨日午後左の通り公表した

一、第二遣外艦隊は山海關沖に主力を集中し支那軍が我軍の側背より脅かすのを警戒して事なからしむ秦皇島より白河に亘り警戒を特に嚴にし在留邦人の生命、財產の保護に當り、且つ列國權益擁護に努む、今までのところ憂慮すべき事件發生せず青島、芝罘も平穩であつたが、これ第二遣外艦隊の努力の賜物に外ならぬ

一、第三艦隊は揚子江流域の警備に任じ特に支那側の排日不法行動を嚴重警戒中である、第一遣外艦隊主力は漢口に集中して警備上萬遺漏なきを期して居る

一、馬公要港部附屬艦隊は福州の排日運動を嚴重警戒中である

社告

營業部員　中村繁
同　山口明治
同　齊正一

右依願退社致しました

昭和八年四月十四日
新京日日新聞社

ふけの銀相場

鈔票	金票	[illegible]
大洋	金票	[illegible]
國幣	金票	[illegible]
大洋	鈔票	[illegible]

人事往來

▲林滿鐵總裁　十八日午前八時來京の豫定
▲貴志彌四郞氏（關東軍顧問）十六日午後四時三十分南行
▲大河內正敏子爵（貴族院議員）同上
▲李文龍氏（吉林鐵道守備隊第二支隊長）十六日午後三時三十五分來京
▲楊發厚氏（吉林鐵道守備隊第一支隊長）十六日午後四時來京
▲林警務局長（關東廳）十六日午後〇時四十分發歸任
▲任臣房治氏（鐵道內外社長）十六日午後七時五十分來京マスヤ旅館へ

惜みても餘りある 冷口戰の勇士

長城一番乘りの甲斐崎少尉と果敢なる大迫中尉

四月十日午前六時三十分温家砂子西南方凹地に位置し攻撃準備中なりし志道部隊は速に前面の敵を『撃退』して五九一高地東側山脚地區を急進し長城の線を突破すべき命を受け、勇躍前進途中所在の敵を撃破しつつ午前八時三十分冷口北方約一里白家店の西方高地を攀登しつゝ難進す。敵は長城の線より吾に向つて猛烈なる銃砲火を集中前進意の如くならず恰も良し嶮峻の岩坂を冒して分解搬送し來れる機關銃歩兵砲は涙ぐましき努力を以て高地稜線に總て射撃陣地を占領せり於此第一線大隊は巧みに絶壁の如き峻坂を攀ぢ草根を頼りの如き藥研の底の如き谷を渡りて長城に懸て匐ひ登る全重火器は標高四三〇高地より其南方五百米の望樓に亘る『長城』に對し猛烈なる制壓射擊を集中す、午前十一時二十五分頃六中隊第一小隊は小隊長甲斐崎少尉を先頭として正に長城壁下に辿りつきたるよと見る間に一人の勇士率先城壁を乘り越へたるよと見るや猛烈なる爆音と土煙は城壁上に上れり、次いで二人三人城壁を乘り越へ躍び越へ彼我の手榴戰と白兵戰とは開始せらる時正に十一時三十分なり。[illegible]て城壁高く國旗を打振るあり則ち萬里の長城の一角は甲斐崎少尉が先頭第一敵堡壘に躍り込み勇戰力鬪以て同小隊により『占領』せられ冷口附近長城全線敵防禦組織を崩壊せしめたる主因をなせり、同戰鬪に於て同少尉は腰部に爆創乃貫通銃創を受け名譽の重傷を受けたり。因に同少尉は幼年學校卒業以來恩賜及臺賜の銀時計を拜受すること三度又劍道の達人にして特に士官學校本科卒業の際は全科一番の優秀なる前途洋々たる青年將校なり而少尉と共に此の占領の際吉田軍曹以下二名名譽の戰死と七名の負傷者を出せり

名譽の戰死者

種別、死傷名、官等氏名、戰死、左右腦部貫通銃創、軍曹吉田福▲同腹部盲管銃創、上等兵甲斐儀三郎▲重傷、左右大腿部手榴彈爆創、少尉甲斐崎三夫▲同左大腿部盲管銃創、上等兵柳田巖▲同右足關節貫通銃創、一等兵山内忠士▲輕傷、左頸部、左肩胛部擦過銃創、上等兵甲斐利雄▲同顎部手榴彈爆創、一等兵荒木義常▲同左臀部擦過銃創、同河野福美▲同左上 部軌部貫通銃創、一等兵遠矢重行

歩兵砲一門で 野砲一中隊を沈目せしむ 大迫中尉の猛勇

四月十日午前十一時三十分冷口西北方四三〇高地の天嶮上に聳ゆる萬里長城を先頭第一に突破せる赤道部隊は師團主力方面の冷口關門の突破を容易ならしむる『目的』を以て更に長城に據り頑强に抵抗する商震軍を東南方に擊退しつつ前進又前進遂に午後三時三十分第一線を以て冷口西北方約一千米高地端に進出、建昌營市街を眼下に見下し得るの最勝の位置を占領す、之より先本月十日午前以來猛威を逞ふする敵野砲兵一中隊の陣地不明の爲我歩砲兵も之が撲滅意の如くならず頗る苦しみたる所なりしが、恰も午後五時十分山上に在りて砲隊鏡を据へ附け敵情偵察中なりし歩兵砲隊長大迫中尉は遙か軍屯營北側に於て長城以北の我軍に對し猛烈に砲擊中なる敵野砲四門を發見し雀躍して曰く「歩兵砲で射距離は遠し効力は疑問ではあるがみすみす此の好餌を此の儘見逃すは心外千萬だ、及ばずとも一發見舞はんでは歩兵砲の恥辱だ」と直ちに高地上に陣地進入を命し其得意とする號令もいと高く「目標一軍屯營北側の射擊中なる敵の野砲一三千一照準點は向つて右の砲車一擊て」「近し三千二百一一發擊て」「近し三千五百一一發擊て」「命中一續いて三發擊て」實に愉快ならずや『鏡眼』を通じて眺むれば砲側の支那兵は恰も蜘蛛の子を散らすが如く四散す、之より後流石の敵砲兵も翌朝迄再び砲撃を行ふことなかりき。蓋し射距離三千五百の遠距離より野砲に比すれば其子供の如き歩兵砲一門を以て野砲一中隊（三門）を全く沈默せしめたるが如きは珍中の珍なるべし

午後六時二十分頃敵歩兵約四百は我第一線たる第七中隊の占領しある高地に對し攻擊し來れるを以て同中尉は更に歩兵砲を以て盛に之を砲擊して敵を惱まし勇戰奮鬪中敵の迫擊砲彈我歩兵砲前に落上し猛烈なる爆音起るよと見るや不幸その部下小港軍曹以下五名と共に悲壯なる名譽の戰死を遂げたり同中尉は平素其人と爲極めて溫厚信義に厚く快活にして技倆優秀、劍道は二段にして齊しく上下に『敬愛』せられたる模範的青年將校なりしが遂に長城戰に於て此の武人として華々しく活躍し最後を遂げたり、惜しみても尚餘りありと云ふべし

新京放送局の榮ある初放送

非常な好成績で開始

十六日午前十一時目出度く開局式を了へた新京放送局は三馬路の本局と『連絡』する附屬地南廣場前新京電話局內の臨時放送所から全滿に向け記念放送のスタートを切つた、エム、テー、エー、ワイの放送室は綠色の絨毯の敷詰めた十坪程の小じんまりした室で窓は同色のカーテンに覆はれ綠の室とでも言ひ度い感じだ、眞中の机には小型のマイクが置いてあり、その兩側に航空會社寄贈の花輪二個シャンデリアの光り輝いてゐるのも開業に相應しい、四隅にはピアノその他の樂器類が一通り揃へられてある、定刻午前十一時友松アナウンサーの紹介でマイクの前に立つた同局の產婆役瀨田特殊通信部長の「新京放送所開設經過と滿洲放送事業の將來に就て」と題する講演が內地及び全滿に向け行はれたが處女放送類る付の好調子である續いて午後五時記念放送に移りプログラム通り修首都警察總監の『講演』に次いで五時半から日滿、鮮、英、露五ケ國語のニュース放送後双玉班の女優佩美の支那音樂を始めとし各種演藝放送に滿洲のラヂオファンを喜ばせた

洗張屋の外交の惡事

市內朝日通洗張業巴屋支店員安透敏三は本年二月上旬ごろ市內三笠町料亭泰華に來り司家裏田榮外八名の衣類六點價格百六十圓を洗張すると稱し持つて行つた儘行方を晦してゐるを發見し新京署に屆け出た安透は既に奉天で同樣手段の犯行を續け奉天署でも捜査中の男で相當に被害があるものとみられてゐる

下駄、草履が山ほど

滿鐵地方事務所裏門入口に去る十一日午前八時頃柳行李一個在中男物フエルト草履、女物キルク草履、表付男物下駄一足、女物同上一足、男物高下駄一足、女物同上一足、黑足袋七足、便器一個が放棄されてゐるを通行人が發見し新署に屆出た、被害者は至急屆けられたしと

三ケ月の ミナコ驅落ち

新京東三馬路料亭三ケ月方抱へ藝妓ミナコこと久保田ツル子（一八）は前借八百圓を踏倒し劇染客市內曙町三丁目四番地勝本商店々員澤田正義（二〇）假名と十六日正午ごろ行方を晦したので捜査願を領事館警察署に屆出た

第四回見本市の 出品者に割引

七月十七日より十九日まで大連、二十八日より三十日迄奉天で行はれる輸入組合聯合會主催第四回滿洲見本市に出品商品に對しては搬入六月二十日より七月三十日迄搬出七月三十一日より八月二十日まで普通運賃の二割引とする事になつた

愛國滿洲號 ハルピン發南下

（ハルピン十七日發國通）愛國滿洲號五機は銀翼を連ね盛大な見送裡に十七日午前九時ハルピン發南下した

英人技師逮捕事件 交渉經過を英露互に公表

（モスクワ十六日發國通）メトロポリタンヴイカース電氣會社英人社員逮捕事件をめぐる英露兩國の確執は容易に解けず、英國側は再度白紙を以つて勞農政府との交渉の交渉經過を公表したが之れに對し勞農側でもリトヴイノフ氏と駐露英國大使オベイ氏との折衝經過一切を公表するに決し、十六日イズヴエスチヤ政府機關紙プラウダ共產黨機關紙上に掲載される事となつた

死體から 腦味噌を拔きとる 元隱坊の惡事發覺

（桐生十六日發國通）桐生市火葬場裏から先頃二個の死體を發見、桐生署で活動の結果元隱坊松井寛次郎を逮捕取調べの結果十數年に亘り多數の死體を埋めたとの自白により附近を十五六兩日發掘の結果實に百二十二個の死體が發掘された、右は腦味噌拔取り、貴金屬剝奪の外變態的犯罪をなしてゐたものである

穆稜鐵道沿線 極めて平穩

（ハルピン十六日發國通）去る十五日某所に達したる情報によれば八面通（穆稜鐵道沿線）守備隊は去る五日同地東方滿蘇國境地區上亮子河及び亮子河附近を示威行進したが附近部落一帶平穩であつたとし又穆稜鐵道終點梨樹鎭守備隊も馬場大尉指揮の下に同地附近を巡警したが異狀なかつた

反革命の罪名で 農民百五十名逮捕さる

（ハルピン十六日發國通）當地に達した情報によれば物資缺乏の結果沿海州ブラゴエシチエンスク方面では赤色軍及勞農民中に不滿の聲高く最近一部勞働者が不穩の行動に出でんとしたので反革命罪の下に首謀者百五十名が逮捕された、尚地方官憲は無職勞働者に對し北樺太行を慫慂してゐる

若手官吏の爲 大演武場建設を計畫

一般市民にも自由に開放

滿洲國政府の官吏はその過半數を若手官吏で占めてゐるので、政府では之等若手官吏の精神修養並に武技演練士氣の養成に就き種々考慮して居るが、今回先づ第一着手として滿洲國劍道部、柔道會、弓大同自治會の後援の下に國務院總務廳阪谷希一氏、秘書處長皆川豐次兩氏が發起人となり近く新發屯に經費十萬圓で八四七、九平方米の廣大な演武場が建設される事になつたが、一般市民にも自由に開放される模樣である

富士町の小火

市內富士町二丁目十番地雜貨商鹽見勇作方の裏納屋より今朝九時頃發火十坪餘を燒失したのみで直ちに鎭火した原因は煙突の不完全から

四平街にまた八人組の强盗

金品を强奪人質拉致

（四平街支局發）近時頻々たる匪賊出沒に當市在住市民の腦裡に不安が包まれて居る『折柄』十五日夕八時四十分頃から十時に至る間に又もや匪賊事件があつた、四平街公順街二十一番地ノ一號當市橋本洋行苦力監督馬殿武（四二）方へ同居の苦力頭張蜜料が使用の爲め屋外に出た處戶外に潛んで居た八名の滿人匪賊がやにはに所持せるブローニング拳銃を張に突付け脅迫し表入口扉の開方を命じ屋內に侵入し、家人にブローニングモーゼル拳銃を擬して火坑に臥せしめ馬の妻並に苦力から大洋金票、時計、金指輪等六十圓を强奪折柄外出先より歸宅した馬殿武を脅迫し所持の大洋三百餘圓を强奪「馬殿武を人質として元入口より隣家阿川洋行の街を拔け公順街を西方に向つて逃走した、其旨寶泉街警察官派出所に報じたので直に本署では非常召集を行ひ吉田司法主任以下總動員犯人の捜査に徹宵つとめたが遂捕に到らなかつた、尚人質として拉致られた馬は四平街西北方十余支里條子河附近にて放還され十六日午前一時頃歸四本署司法室に於て犯人行衛に付いて『訊問』をうけ今尚警戒の手をゆるめず第二の活動に入り目下嚴重捜査中

ハルピン驛の 强盗 巡警二名を射殺逃走

（ハルピン十六日發國通）十六日午前八時ハルピン驛員四名が貨客營業收入五十元を理事會に護送せんとした際怪漢四名現はれピストルを亂射して巡警二名を射殺し、右五十元を强奪[illegible]かへ逃亡した、目下日滿官憲協力して犯人嚴探中、此日は復活祭とし通行人多く一時は大騷ぎを演じた

空の麗人、無事

羽田飛行場に着陸 歐亞一萬八千粁を突破

（羽田十六日發國通）絶えて久しき空の國際訪問者麗人飛行家マーリルイズ夫人は歐亞一萬八千を翔破今朝京城發以來九時間春日うらゝかなる櫻の日本の空を翔り箱根より日本飛行學校その他の出迎へ機の誘導を受け午後四時十五分佛蘭西大使館付參事官ジユランス氏、海軍武官ロラル氏、陸軍武官モロー氏始め日佛協會理事その他男女學生一般觀衆場を埋め盡す中を無事午後四時十八分羽田飛行場に安着盛大な歡迎を受けた

市民の非難に

水道の根本的改善 十九、廿、廿一日は斷水

既報、新京の水道は第四水源地假井戶の不備から白水のやうな水を提供してゐるがこの再三の不始末に水道係でも市民に申譯なしとして一時斷水して第四水源地の防護工事をなすこととなつた斷水の日程は

十九日 何れも正
二十日 午から午
二十一日 後七時迄

でこの間中央通以西は全く斷水[illegible]間中とて水が出ることもある由で各家庭で注意せられるやうにとのことである、なほこの防護工事完了後は市民に濁水を飲ませるやうなことはないでせうと滿鐵では語つてゐる

石田討伐隊 東寧に凱旋

（ハルピン十六日發國通）當地某所に達した情報によれば去る六日石田討伐隊は老黑山附近の戰鬪後老黑山南端の部落に宿營し翌七日更に老楊家南方約六キロのチンショーコ附近の匪賊を掃蕩し、八日午前五時半南端部落東寧道を前進し同日午後四時十分東寧に歸還した

ジストマ蔓延 江蘇省に

（天津十六日發國通）大公報所載靖江浦通信によれば同地方には春に入つてより氣候不順のため始め三棵樹に發生したジストマは忽ち宿遷、泗陽漣水等附近の各縣に蔓延し死者三、四百に達したが江蘇省には防疫の經費がないため全國經濟委員會に救濟方を請願した

四平街便り

（四平街支局發）目下康平縣を巢窟として蟠居遊動しつゝある匪賊は約二千名に及び、之れが討伐方を歎願し來る附近農商民は日日二十名を下らぬ狀態で、縣下良民の被害甚大なるものと縣當局は六等賊團を掃蕩し良民の苦を救ふは焦眉の急務なれば警察隊の不足彈藥を速かに補充し各隣縣と協同日本軍隊の援助をこひて高粱繁茂期前に於て徹底的に潰滅すべく種々計畫中である

陸上選手 南米遠征

（東京十六日發國通）全日本陸上競技聯盟が計畫してゐる南米遠征は愈々此程實現の運びに至り、大体六月二十日頃出發することとなつたが、派遣選手は南米側の希望により短距離、中距離、跳躍の選手各二名宛と云ふことになつてゐるが、大体選ばれる顏ぶれは學生選手を中心として吉岡、中島、西田、西、藤井等の中から、南部忠平を一名加へて編成し一行は途中桑港で出來れば對米競技を行ひ、南米では邦人の一番多いブラジルのサンポーロを中心にペルー、智利、アルゼンチン、ウルガイ等に轉戰し、歸途は墨西哥に立寄り競技をなす希望を有つてゐる

關東派の巨星 松風軒榮樂來る

現在の東西の浪曲界の人氣を一身に集め日本內地各所に最高のファンを持ち至る處大好評の松風軒榮樂の一行が初めての滿鮮巡業の途次十八日から三日間長春座で開演することとなつた榮樂師の人氣はレコード等に於て高潮せられて居るが音聲と云ひ節と云ひすべての條件を完全に具備して居ることは浪曲家間に定評あるところ一行は、松風軒榮丸、松風軒榮司、吉田一平、京山八雲、日本一の宮劇讀み、日吉川、才兵衞と、松風軒榮樂で、入場料金は、特等一圓九十錢、一等一圓廿錢、軍人、學生七十錢である

立教勝つ 法立第一回戰 4—3

（東京十六日發國通）法政對立教野球戰は今春リーグ劈頭を飾つて十六日午後二時卅五分神宮球場で森田、横澤、片桐三氏審判の下に立教の先攻で擧行され恒例により鳩山文相の處女球を以てリーグ戰の幕は切つて下された、夜來の雨は晴れたるも依然雨模樣に入場者は八分の入り例年になき寂しさである、スコアは左の通り

立教	000200011	4
法政	000003000	3

で、結局四對三で立教先勝した、閉戰四時四十分、バツテリー立教菊谷、別井、法政若林、劉、田子、倉

慶應大勝 對早庭球戰

（東京十六日發國通）第十九回早慶庭球戰は十六日グブルスを擧行慶應全勝した、スコアは左の如し

慶應		早稻田
高橋 村上	3—2	柴内 桑澤
山田 渡邊	3—2	平井 多田
山岸 西村	3—2	山岡 吉川

ラジオ商 内藤商會大飛躍

市內室町二丁目二番地のラジオサービス店內藤商會では十六日の新京放送局開局と共に大々的飛躍を試みつゝあるがジヤクソンペル五球金百圓ジヤクソンペルコンビネーション五球金二百五十圓、ヒルココンビチーション金三百六十圓で提供尚故障修理一ケ年間は無料奉仕を行ふこととし豫備材料を豐富に貯藏して居り註文その他は電話三九〇七番へ申込めば即刻店員或は技術員が出張するさうである

島崎赤太郎氏

（東京發）前東京音樂學校教授日本教育音樂協會理事長島崎赤太郎氏は十三日午後逝去した

片岡祝子夫人

（東京發）元藏相片岡直溫氏夫人祝子刀自は十三日肺炎で逝去した

ラヂオ欄

十七日（月）新京
奉天后四、〇〇レコード
錢行金銀相場 商業通信社
新京后四、三〇演藝（滿洲側）
新京后五、〇〇講演
滿洲語
演新京后五、三〇ニュース（滿洲語）
東京后六、〇〇ニュース東京
中央放送局編輯
新京后六、二〇演藝（滿洲側）
新京后七、一〇ニュース（露西亞語）
新京后七、二〇ニュース（朝鮮語）
新京后七、三〇演藝
大連后八、〇〇說明「紀文」長唄 唄大檢六丸 同花奴 唄大檢紋江 三味線杵屋六代吉 同大檢すま子 同さし江
東京後八、三〇時報
奉天後八、三一琵琶 猪田天南

十八日（火）
奉天後四、〇〇レコード
錢行金銀相場 商業通信社
新京後四、三〇演藝（滿洲側）
新京後五、〇〇講演滿洲國人ノ覺悟 協和會員 趙鈞治
新京後五、三〇ニュース滿洲語
東京後六、〇〇ニュース東京
中央放送局編輯
新京後六、二〇演藝（滿洲側）
新京後七、〇〇ニュース英語
新京後七、一〇ニュース（露西亞語）
新京後七、二〇ニュース（朝鮮語）
新京後七、三〇演藝
大連後八、〇〇演藝
東京後八、三〇時報
奉天後八、三一演藝

新京日日新聞

定價 一部金三錢 一ケ月金八十錢 郵稅 一ケ月金十五錢
新京永樂町四丁目一番地 發行所 新京日日新聞社 電話 [illegible]
發行人 [illegible] 編輯人 [illegible] 印刷人 [illegible]

支那政權よ、迷夢から醒めよ
西南支那の一角に 新中國の建設運動
對日策は特に親善を强調

西南支那に於ける青年學徒を代表する嶺南大學の某教授は腐敗せる支那の現況を慨嘆し、殊に民衆を犧牲とする無意義なる抗日運動の禍害の甚大なるを思ひ、同志相謀り西南支那の一角に新中國建設の大運動を起すに至つた其理想とする所は西歐文化を背景とする王道政治に依り大亞細亞聯盟結成を目標とするもので、對日策は特に親善を求め日本の協力により新中國を建設し、四民を塗炭の苦より救はんとするにある、此種運動は今後他の方面にも起ることと思はれるが支那の現政權が何時までも抗日の迷夢から醒めぬのは自ら墓穴を掘るものといふべきである

全滿五省に亘つて
省警備司令制
近く新軍令を發布

討熱軍總司令部及同前敵總司令部は曩に解散せられたが、今回洮遼警備司令部を廢して熱河省警備司令部を設けることとなり

【熱河】警備司令官には陸軍上將張海鵬氏が擧げられた、舊洮遼警備區域に殘つて居つた洮遼警守軍は其一半を熱河に編入せられ、他の一半はその儘奉天省警備司令官の指揮下に入ることとなつた、之に伴ひ全滿洲國は結局各省毎に省警備司令部が設けられることとなつた際だが、興安省はその特殊情態に鑑み各分省毎に警備司令官が置かれる筈である、從つて近く軍令の發布を見ることとなるが

【軍政】部では通遼縣が奉天省の飛地となつてゐるのを不便に感じて居るので、此の通遼縣の歸屬改正の機會に新軍令を發するやう手續する由である

荒木所長赴連

荒木新京地方事務所長は大連における滿鐵各地方事務所長會議に列席のため十七日午後四時三十分發大連へ

大同學院入學式

滿洲國大同學院では來る十八日午前十時から第二回の入學式擧行をすると

初代駐日公使
丁士源氏に決定
鮑代表に歸朝命令

日滿外交關係のより强き整調を期するため滿洲國外交部においては豫ねてより滿洲國駐日代表公署の昇格並びに此れが初代公使の選任を考慮中であつたが初代公使としては丁士源氏が決定し同時に十七日外交部においては現駐日代表鮑觀澄氏に對し歸朝命令を發した

丁新公使語る

滿洲國の初代駐日公使に內定を見た丁士源氏は往訪の記者に左の如く語る

余が滿洲國政府から初代駐日公使の重任に任命されたのは事實である、アグレマンは問題で無い、駐日公使館の官制は將來現在共大した變化はあるまい勿論、余が赴任すれば鮑代表は歸朝するだらう、余の健康が駐日公使の重任に堪へられるやと心配して下さる向もあるが余の痙攣は輕いリユーマチで阿片の結果ではないから心配ではないよ

因に外交部には今日迄の處未だ日本外務省から何等通牒到着してゐないが兩三日中にはアグレマン到着が期待されて居る

滿洲國軍の基本編制決定
熱河作戰の一段落を機會に

熱河作戰も一段落を告げたので滿洲國軍は玆に整備の歩を進めることとなつた。乃ちの基本編成を定めて部隊の改編を行ひ步兵旅、騎兵旅、混成旅の三種の戰略單位を設けることに決定した、此の改編の結果、全般の兵力には大なる增減を來さない由であるがた、小銃を持たぬ步兵や馬を持たぬ騎兵に對する若干の整理が行はれる、而して又各旅の內容は縮少される代りに旅の數は增加する。これと同時に各省警備軍に一個の模範旅を編成して全般の改造促進の用に供する。又既に奉天に設けられたる中央陸軍訓練處で初級軍官の鍛へ直し教育を行ふ筈で最近該訓練に優秀なる日本將校を加ふるに至つた。要するに王道國家完成の爲めにはどうしても滿洲國軍隊の改造を必要とするといふ要求から軍政部は大いに馬力をかけ軍政刷新に懸命に努力を續けて居る

教員養成機關
新設その他を審議
昨日の國務院會議

第十六次國務院會議は十七日午後二時より國務院會議室に於て開催、鄭國務總理以下各部總長出席、次の議案を審議した

一、教育講習所官制案、文教部に教育講習所を新設、中小學校の教育者を養成する

二、滿洲中央銀行受繼虧損補償公債を交附する件(中央銀行が舊行號の資産負債を引繼たるに付き差額約三千三百萬圓を政府が補償する爲本公債を發行交付する案)

三、日本國駐劄外交官々制制定の件

哈爾賓航業聯合會總章程(一)

既報、松花江航運業者の窮狀を救ひ、且は國家の統制監督の下に松花江航運業の隆盛を期すべく今回新に認可されたハルビン航業聯合會總章程は次の如くである

第一章 總則

第一條 本會は哈爾濱航業聯合會と稱し汽船及[illegible]多を有する官民全体の航業者により之を組織す

第二條 本會は第一條航業者の船舶を以てする松、黑、烏蘇、嫩、額、諸河川における航運並に交通部許可の附屬事業を統制辦理するを以て目的とす

本會に加入せる船舶及其の附屬物品は凡て本會の支配に屬するものとす

船主船舶を賣却又は貸與する場合は其の買受者又は借受者に對し引繼き本會に加入すべきことを條件とすることを要す

第三條 本會に加入する船舶の資格は航政局の檢査に合格したるものなることを原則とす

船舶は封江の時期航行の原狀を以て船主に返還す但し自然の消損及船舶自体の缺陷による損害は此の限りに非ず

第四條 本會の試辦期間は一ケ年とす(自大同二年二月起至大同三年三月止)期間滿了後船東會の決議により聯合を繼續することを得

第五條 本會の總機關を哈爾賓航業聯合總局と稱し哈爾濱に設置す船東會の決議により必要の地に分機關を置くことを得

第二章 船東會

第六條 本會は加入船主を以て船東會を組織す

第七條 加入船主は其の船舶の評定價格に基き持分を有す

持分は評定價格一萬圓を以て一株とす

但し一萬圓に滿たざる端數は一株とす

第八條 加入船舶の持分は暫時民國二十年の聯合局所定の利益の分配持分による但し持分未定のものについては別に定むる船舶檢査委員會の評定による

第九條 船東會の決議權は持分一株を以て一權とし百株を超ゆるものは其の超過株每十株を以て一權加ふ但し十株に滿たざる超過株の端數は一權とす

第十條 船東會の決議すべき事項は左の如し

一、重要章程の制定及び改廢
二、本會の豫算及決算
三、營業期間
四、株の增減及船主の變更に關する事項
五、損益の處分及員工酬勞金
六、理事會及監事會、詮議する事項

第十一條 船東會の定期會議は每月一回之れを開催す臨時會議は理事會又は決議權の三分の一以上に當る船主の請求により理事長之れを召集す

第十二條 船東會に議長及副議長一名を置く議長は交通部總長之れを指名し副議長は商方船主より互選す

議長事故ある場合は副議長之れを代理す

第十三條 會議は決議權の三分の二以上に當る船主の出席を要し其の決議は出席決議權の三分の二以上の贊同を以てなすものとす

第十四條 船主は會議出席不能の場合書面を提出して自己の使用する責任者を以て代理せしむることを得

東部國境方面の
兵匪近く一掃
蘇聯の策動に滿洲國大憤慨
吉林軍の大活動か

吉林省東部國境方面の匪賊は熱河作戰開始に方り日本軍の撤退に乘じ再び頭を擡げ出したが此方面に依然として蘇聯邦の手が動いて居ることに對し滿洲國では痛く憤慨して居る。近く禍根を一掃する爲め吉林軍の大活動が行はるゝことと思はれるが反滿兵匪をして復た起つ能はざるまでに大打擊を與へることとならう

原田中佐來京

〇〇兵團迎部隊付原田中佐は陸軍大學教官として赴任のため十六日建昌營より新京に到着、記者團に左の如く語つた

十一日午前建昌營を占據した我軍の猛擊に支那兵の狼狽振りは非常なもので建昌營の兵營には多數の武器彈藥が遺棄されてあつた、殊に長城附近の堅樓攻擊には支那兵は目が覺めると日本兵が傍に居たため驚いて時計を出して命ごひをしたと云ふこともあつた位で我軍の急追擊には余程驚いたらしい

上水道完備に
水源地設置委員會

新京城內、滿鐵附屬地の發展人口增加に伴ひ益々上水道の完備を痛感するが新京特別市政公署においては豫て新京特別市上水道計畫を樹て水道設備を擔保とし滿鐵より本年度資金十五萬圓を借款、之が實現に着手し、目下滿鐵、市政公署、國都建設局において夫々試堀をなして居るがこれでは相互間の連絡に圓滑を缺くのうらみがあるので今回三者の連絡機關として水源地設置委員會を設けこれが一層の徹底を期し大新京の上水道建設事業に邁進する事と成つた

謝總長に感謝

過般米國ロスアンゼルス一帶に亘る震災に於ける謝外交部總長よりロスアンゼルス市長タオンボーター氏宛の慰問に對する同市長よりの次の感謝文が十七日謝總長宛外交部に到着した

拜啓陳者最近我國當地方に於ける震災に對し閣下より御懇篤なる御見舞に接し玆に謹んで全市民の名を以て感謝致候、今罹災地方に於ける救濟並に復興事業は十分に組織せられ萬事その緒に就き申候間御安心被下度敬具

一九三三年三月十七日
市長 タオンボーター
外交部總長 謝介石閣下

諸懸案落着し
各方面へ挨拶
林總裁の來京日程

製鋼所問題、增資案、鐵路總局開設など滿鐵最近の大問題も一段落がつき、さきに內地より歸連した林滿鐵總裁は軍部、滿洲國方面その他へ挨拶のため山崎理事、佐藤建設局長、西脇秘書帶同明十八日午前八時新京に到着するが豫定は左の如くである

午前十時軍司令部訪問 武藤司令官、岡村副長と會見
午前十時三十分、特務部訪問 吉田大將、鈴木、安藤、大島各顧問と會見
午前十時四十分大使館訪問 栗原書記官と會見
午前十時五十分 駐滿海軍部訪問、小林少將と會見
午前十一時十分 橋本憲兵司令官訪問
午後一時二十分國務院訪問 鄭國務總理、宇佐美顧問と會見
午後一時三十分參議府訪問 張議長、袁、貴、增、筑紫、田邊各參議と會見
午後一時四十分財政部訪問 熙總長と會見
午後一時五十分軍政部訪問 張總長と會見
午後二時執政府訪問
午後二時十分交通部訪問 丁總長と會見
午後二時二十分實業部訪問 臧總長と會見
午後二時五十分外交部訪問 謝總長と會見

なほ同日午後六時三十分よりヤマトホテルにて軍首腦部滿洲國側各部總長その他を招待し宴を張り十九日午前九時新京發歸連の豫定である

林總裁の招宴

十八日來京の林滿鐵總裁は同日午後六時三十分より新京大和ホテルに日本側武藤關東軍司令官、小林駐滿海軍部司令官、關東軍海軍部各課長、大使館其他各機關有力者四十四名、滿洲國側、國務總理國務顧問、參議、各院長、各部總長、局長等四十名、其他市中の有力者を招き晩餐會を行ふ事となつた

齋藤、淺子兩警部 廿日朝出發

安東警察署へ榮轉の新京署齋藤警部、大連署へ榮轉の淺子警部は暇乞に十七日關係方面を歷訪した、因に兩警部は二十日午前九時發列車で赴任

四平街便り

大同電氣創立披露

當市大同電氣株式會社では十六日午後二時より樓上大同會館にて日滿官民有志多數を招き同會創立披露の祝宴を張り盛會裡に四時半散會した

開原新商教諭着任

新京商業學校教諭を命ぜられた開城堅道氏は十七日關係方面を着任挨拶に歷訪した

兵匪續々歸順申出

(安東發)匪首陶景文は此の程滿洲國に歸順すべく意を決し鳳凰城縣長にその旨申込だので、康縣長は楊警務局長に人數其他につき點檢を命じたがその結果判明せる主なる部下名及び銃器數は左の通りである

		部下數	銃器
頭目	陶景文	一七〇	一六五
部下	陳福林	一二〇	一二〇
	謝明幹	一一〇	一〇五
	盧義臣	六五	六五
	金世林	一三〇	一二五
	于銘三	七〇	六五
	張明	一四〇	一二九
計		八〇五	七六九

尙ほ右陶景文の歸順問題に刺激されて歸順の意を決した匪首海咬も陶景文と共に來る二十二日までに歸順を決することとなつた

一人一話

日本精神　松岡洋右

今日の我國青年男女の中には、甚だしく矯激な思想に走つてゐるものがある。そして又一方には所謂モボ、モガなるものが横行濶歩してゐる。それを革命の兆とし、これを亂世の徴として、世の識者の中には頻りに憂慮してゐる者も多いが、私は然樣な杞憂に捉はれるに及ばぬと思ふ。モボ、モガの如きは單に樣式上の變化であり、彼の左翼思想の如きも、一方には右翼思想の對立があつて、內部的の日本精神には微動もないことを私は確信して居る。

天氣と氣溫

十七日の氣溫、最高八度一、最低零下零度四、十八日の天氣西の風晴れ一時曇

經濟欄

海外經濟

▲銀塊及爲替 今日
倫敦銀塊 休會
同 遠限 [illegible]
紐育銀塊 [illegible]
英米爲替 [illegible]
米日爲替 [illegible]

各地市場

▲綿花 米支爲替 [illegible] スチール株 [illegible] アナンゴダ株 [illegible]
●米 綿花 休會
現物 五月限 七月限 十月限 十一月限 十二月限 三月限
●印 ブローチ ベンゴール オムーラ 綿花 休會
▲大坂株式 株 新紡 新鐘 [illegible]
▲同短期 新大鐘 新東 [illegible]
▲大連株式 五品 豆新 錢鈔 [illegible]
▲大阪三品 當限 五月限 六月限 七月限 八月限 九月限 先限 [illegible]
▲大阪棉花 [illegible]
▲大阪期米 當限 先限 [illegible]
▲仁川期米 當限 中限 先限 [illegible]
▲横濱生糸 現物 當限 先限 [illegible]

新京市況

大豆 現物 出來高 [illegible] 五車
高粱 現物 出來高 [illegible] 二車
▲錢鈔(現物) 鈔票對金票 大洋對金票 國幣對金票 大洋對鈔票 [illegible]

「日滿海運界に新エポック」

滿洲國海運の世界的進出を企圖

大汽の日滿協同經營は如何！

新船舶法並びに河川航業法を制定して滿洲國海運業の發展促進を企圖してゐる交通部では不振狀態に在る滿洲國沿岸航路を

『開始』するため熱河物資の吞吐港たる西海口と營口間及び大虎山、安東間の二線新設計劃を進めて居るが、更に一歩を進め、滿洲國海運業の世界的進出を圖るため

一、滿洲國々籍商船を協力せしめて强力なる商船隊を組織して世界雄飛を期する

一、滿鐵資本系統にある大連汽船會社を日滿合辦組織に改編して大汽の有する不動なる南支航路の勢力を基礎に日滿兩國の協力によつて南支航路は勿論、滿洲國沿岸航路、內地航路並びに歐州向大豆輸送を主眼とする歐州航路の開拓を圖る

この二大案に就き

『研究』を重ねて居るが、第二案たる大汽の日滿協同經營案の具体化までには相當距離は存するも、日滿海運統制上より觀て充分なる可能性を有しり、實現は時期の問題とされて居り、日滿海運界に一時代を劃するものとしてその推移は各方面の注目をあつめて居る

航運發展に必要な諸法案

五月中に公布せん

滿洲國交通部では海運並びに河川航業の振興、統制を圖り强力なる滿洲國商船隊の實現を目標にその第一着手として松花江航業

『聯合』會を組織せしめ、官民所有船百二十隻を國家統制監督の下に置き松花江航運業發展を促進することゝなつた事は既報の如くだが、更に海運並びに河川航運全般に亘つて統制を確立するため船舶法、船舶安全法、同海員法、水先法、河川航業法の制定を急ぎ既に原案起草を了し目下法制局に於いて審議中で遲くも五月中には相前後して公布の運びに至るものと觀測されて居る、新船舶法は日本船舶法に準據し滿洲國の特種事情を

『加味』したもので滿洲國沿岸航路の開拓促進の見地より滿洲國籍船以外に日本海運業者の進出許可を規定せるを最大特色とするものである

奉天醫大に

上海から入學

（奉天十七日發國通）本年より復活し去る十五日入學式を擧行した滿洲醫大醫學專門部は滿洲國人三十二名中、民國人六名の入學志望者中嚴選の上內地人十四名、華人三名の入學を許可したが、面白いのは支那人六名の志望者で、これは全部排日の本場上海出身者然かも同校が上海で出した生徒募集の新聞廣告が露骨な官憲の妨害を受けたに拘らず六名の志望者があつたことは世界共通の鐵則「學問に國境なし」の現れとして興味深く見られてゐる

邦人夫妻射殺さる

（奉天十七日發國通）十六日午後七時頃滿鐵本線新臺子附屬地丸井洋行井上貞次郎氏方に四名の滿人馬賊押入り二名が屋內に侵入して金品を强要した、氣丈な井上氏は矢庭に賊に組み付き大格鬪を演じたが遂に賊の爲め妻と共に拳銃で射殺された、賊は一物も得ず逃走したが子供二人は屋外に避難したので事なきを得た

マンシウグンノヘイタイサン

かあい、女の子がこんな手紙を出しました

大阪市天王寺區堀越町九四の熊谷美智子さんといふ少女（九歳）は本年一月一日以來毎日々々愛國の二字を百五十枚の半紙に書き溜めて今回之を滿洲國軍隊慰問の爲め滿洲國政府軍政部に贈つて來た、之に副へた手紙にはクレーヨンで日滿國旗を描いた下に「マンシウグンノヘイタイサン」へと題し次の樣な可愛い文句が認めてあつた

マンシユーハタイヘンサムイオクニトキイテイマスガ、マダユキガフツテイマスカ、マイ日オクニノヘイタイサスト私ドモノヘイタイサントナカヨクテツポーデナラベテワルイモノトセンソウシテイラレマストキイテキマス、ハヤクワルイモノヲコロシテリツパナオクニニナツテ下サイ、コノ字ヲオクニノヘイタイサンニアゲテ下サイ

軍政部の武官連の嚴めしい顏にも感激の微笑が湧いた此の可憐なる少女の心持は廣く全軍に傳へる由である

ミシンを詐取

犯人は行方不明

市內大和通六十番地新京館止宿帝國ミシン會社出張所小口清美（二二）は去月二十七日三笠町二丁目十三番地協和タイプ大作祐助方に至り今回城內三馬路にミシン講習所が設置され同所でミシンを購入することになつた、からお宅のミシンを高價で賣つてやると稱し時價百五十圓のミシンを持つて行つた儘、何等の通知がなく調べて見ると講習所はなくミシンは七十圓で北門外料亭代明に賣却され小口が姿を晦して居るを發見し詐欺犯人として新京署に屆出た

ペルシヤ時代と同一の古貨幣

滿洲國金鑛調查會員が鐵嶺附近で發見

滿洲國金鑛調查會は最近鐵嶺東方三邦里柏家溝附近で試驗採掘中、直徑六粍厚一粍 貝貨を發見したが右鑑定の結果、右はペルシヤ時代のものと同一であり、砂金採掘中に古代貨幣を發見した事は頗る緣起が良いと調查員一行は大喜びである、各地で續々珍品が發見される模樣なので關係當局では陳列館を設けて、此等發掘物を保存し一般に參觀せしむる意向を有して居る

突如拔劍して馬車夫を斬る

亂暴なる運轉手

十七日後二時ごろ三笠町四丁目十一番地先（東四條通、大和通交叉點）で市內住吉町九番地石炭業高橋甚一方石炭運搬馬車夫王書珍（三二）が大和通から東四條通に向け運搬中、前記場所に差懸た際東四條通から軍人を乘せた一台のサイドカーが通りかゝりサイドカーの運行を遮た爲突如白衣を着た運轉手が下車し拔劍しあやまれる馬車夫王の頭部に長さ二寸余を斬付け逃走した旨新京署に屆けた、同署では直に附屬地憲兵分隊に通報すると共に犯人の搜查を行つてゐる

安東から

情報主任會議開く

在安各機關の第一回情報主任會議は十四日午後一時より三時まで滿洲街安東憲兵分隊に於て開催、先づ列車運行妨害を取締り、沿線各村落の牛馬放牧を嚴禁し、馬匪賊の狀況は大小に係らず各機關に連絡し速に討伐方法を講ずると共に鴨綠江出入船舶の取締を嚴重にし武器の密輸入密行者の潛入防止に遺憾なからしめ、又奧地に於ける天然痘流行に鑑み安東出入者の防疫に努める外警備、保安、衞生その他各般事項に亘り協議を行つた

軍經理部派出所新設

關東軍經理部では軍用材に關する事務處理の爲め安東に派出所を新設、所長として上等計手深谷重雄氏來任した、派出所は二番通り二丁目に置き九月頃迄存置される豫定である

菊竹次長歸る

豫て鄭家屯に出張蒙古王侯會議に列席中であつた興安總署菊竹次長は興安南分省長業喜海須、北分省長凌陞兩氏同道十七日歸京したが同午後四時三十分發鳩で大連に回つた

死線に喘ぎつゝ吾等が樂土の建設へ

淚ぐましい李縣長の姿に

住民は感謝の淚

王道樂土の理想國家への多難なる建設途上、身は雙城縣の富豪の息と生れ乍ら私財を投げうち而も現在肺患重く余命幾許も無い死線を越えて王道實踐に邁進してゐる延壽縣々長李春魁氏の淚ぐましい隱された美談が最近協和會中央事務局に歸局した延壽縣協和會辦事處長井東信夫氏に依つて傳へられた

氏の語るところに依れば、雙城縣の富豪の息と生れ乍ら匪賊に荒され盡した延壽縣の爲に縣長として粉體碎身私財をなげうつて燒き拂はれた縣公署の廳舍を造り、民衆を王道の光に蘇へらせる爲劇場を建て民衆の心に王道の慈しみを注ぎ、その他

『百般』の文化施設に毎月少からぬ私財を投じ遂に數萬元の私財は遂に無一物となり果てつつ、尙ほ民衆善導の努力を續けつゝある、李春魁氏は今年三十七才の壯年であるが十八才の折胸を病みその後自らの肺を侵さんとする病菌を撲滅するため抵抗療法を以て幾度か死線上を彷徨しつゝあつたが、遂に病に打ち克ち自らも完全に病の根絕を信じてゐたが新國家建設と同時に延壽縣々長に任命されるや前記の如く北滿の秀境に理想を建設の大使命に向つて盡瘁を分たす

『奮鬪』した過勞の結果全快したと思はれてゐた肺病の再發を知つて愕然としたが氏は遂に余命幾許も無き身を悲壯にも「斃れて後止む」の覺悟を定め、鈴木縣參事官並に井東氏の忠言には寂しい微笑を以て答へるのみで遂には家財を賣り拂ひ縣長としての職務は勿論、朝は五時に起床、一日二回の市中巡視を從前通り規則正しく行つてゐたが遂に數日前悲痛にも喀血を見、而も愈々初志に向つて邁進倦まず最近は毎夜血を吐いた身体に自ら「克服の鞭」を加へて五時起床を續け王道樂土

『建設』に痛ましくも蝕まれた身体を捧げる氏の姿を住民は淚を流して伏し拜んでゐる有樣である私財はおろか肉体までも惜氣もなく捧げ敢然として奮鬪する氏の名は滿洲國の在る限り永久に消えることはないであらう、井東信夫氏は「もう永いことはありますまい」と語り終つて悲痛な面持で流れ落つる淚をぬぐつた

新京商業生母國見學

（第七信）

口…林立する鐵筋の柱、その間に張りめぐらされた電線遠く亂れ立つ煙突の群、朝空に漂ふ煤煙、密集する人家。街の中を汽車が通る。「大東京」だ。間もなく新橋驛に着く。時に午前十時、先日來の雨は止んで曇り勝な空に濕つぽいがいやにう風すら寒い。驛頭に東京府立第三商業及京橋商業の生徒諸君の出迎えを受けた。全く「親しい」と言ふ感がしてならなかつた。めいめい荷物は驛に置いて其儘遊覽バスに乘つて一同一日の東京遊覽に出掛ける。

口…バスガールの市中說明に耳を傾けて居る內に先づ宮城前に着く、高い石垣青松、それをめぐる濠、濡れた砂利の上を靜かに二重橋前迄歩を運ぶ、青い松の間から白いお城のかべが氣高く、くつきりした姿を見せて居る濠の水は松の綠を映して靜かに小さな波を立てゝ居る、しんしんと清浄な空氣が胸にしみ込んで來る「氣を附け」「禮」!!すべてが遠のいた頭の中は何物もない「嗚呼大日本帝國」!!言ひ知れぬ感激が胸に脈打ち心臟の鼓動が耳に聞えて來る。そして不思議な勇氣が腹の底に湧いて來た非常時日本」!!何、何が非常時だ、何時迄この尊い祖國を非常時にしておけるものが、聯盟がなんだ、世界がなんだ、そうだ我々は第一線に活躍するのだ、そうしてこの非常時を吹き飛ばすのだ

口…九段の靖國神社へ向ふ、七丈餘尺の大鳥居をくぐれば眞前に大村益次郎の銅像が立つて居る。忠烈の勇士の魂に深甚の謝意を表してしばらく後側の遊就館內を見學する時間が少ないので古今の名刀に見とれて居る內に時が來てしまつた、こゝから又バスに乘り東京諸名所を廻り泉岳寺で晝食を取り午後四時最後に名士訪問の一つ荒木陸相を官邸に訪ふ、木立の庭で待つこと幾十分間もなく我々は陸相に訓話をして載ける光榮を賜はつたのである。お顏の色こそ白いがあのダブと尖つた鼻つり上つたひげ引しまつた口もさなんとなし我々は前校長森川先生の風貌に接する思ひがしたのだつたこんな人が居ればこそ日本は大丈夫なのだ一度曾つてその風貌に接しただけでそう思はれた。現在の日本の狀況それに滿國の事、及び滿洲の第一線に立つ我々青年覺悟等についてお話しがいた。がその內最も心にひびいたのは最後に「くれぐれも言つて置くが君等はあちらで滿洲人に對しては快してくだらない優越感を持つて、かりにも彼等を侮辱する樣な事があつてはならない、時には彼等の中にも日本人を誤解して不遜な態度を取るものがあるかも知れないがそう言ふ者はよく敎へ導いて親切にその誤まつた點を直してやらねばならないそうしてお互に共存共榮の實を擧げるのだと言はれた言葉だつた滿洲殊に滿鐵附屬地で日本人が滿洲人に對して見苦しいほど侮辱するのを見る事がある。あれが日本人か世界の一等國民として大日本帝國の臣民としてよくもあゝ言ふ態度が取れるものだ何れの國の人に對しても同じ事であるが此際特に滿洲人に對してかりにもこうした態度は禁じる事が大切だ。口先だけで眞の日滿親善が出來るものではない。我々は先づこの陸相の言葉に從つて日常の行爲に日滿親善の實を擧ぐべく努力しやうではないか

躍進へ！新京スポーツ界

全新京庭球部スケジユール

幹事も更に十名追加

オール新京庭球部では十六日各委員參集のうへ昭和八年度スケジユールを決定、なほ幹事十名を增員追加することゝなり、十八日左の通り發表した

新京庭球部スケジユール

對外

一、全滿選手權大會 六月中旬於大連、二組選手派遣
二、州外選手權大會 七月九日於撫順、三組同上
三、州內外對抗 八月六日於奉天、三組同上
四、州外大會 八月下旬於奉天、四組同上
五、全滿大會 九月中旬於奉天、四組同上

全新京遠征

一、對撫順チーム 九月十七日、七組派遣
二、對鞍山チーム 七月中旬 同上
三、對奉天チーム 七月下旬 同上
四、對四平街チーム 六月中旬同上

當地主催

一、コート開き 四月下旬於金澤寮滿俱コート
二、春期トーナメント 五月上旬、同上
三、春期庭球大會 五日中旬 同上
四、鐵道對地方對抗 八月中旬、同上
五、新聞社寄贈優勝旗爭覇戰 六月上旬、同上
六、滿洲國寄贈カツプ 九月上旬、同上
七、秋期トーナメント 八月下旬、同上
八、秋期庭球大會 九月上旬 同上

當地招聘

一、大連チーム 五月下旬、
二、對四平街チーム 六月下旬、同上
三、對鐵嶺チーム 六月下旬 同上
四、對撫順チーム 七月上旬 同上
五、對鞍山チーム 七月中旬 同上
六、對全東京チーム 七月下旬、同上
七、對學生聯盟 八月中旬、同上
八、對大阪チーム 八月中旬 同上
九、對九州チーム 八月下旬 同上

庭球部幹事追加

列車區大串富雄、機關區橙田勝一、鐵道事務所松井靜太郎、商業高宮盛逸、滿俱折田喜一、電氣原口純充、郵便局毛利英藏、大滿蒙加藤金保、取引所山下善代、銀行片山良藏

滿洲にも櫻の新名所

鎭江山一帶に

滿洲農務課の新計畫

（安東發）鎭江山、滿洲の庭たる鎭江山に一月を續けて咲かせ樣と滿鐵農務課でカみ朝鮮から取寄せ中であつた晩咲き小櫻苗木一千本は此の程到着したが、全部八年生以上と云ふ註文通りには行かず、それに多少到着時期が遲れたので止むなく一應苗圃にかこう事となつたがうち約六百本は八年生以上なので近日より植樹することゝなつた。早いのになると今年から咲き初めるかも知れぬが一年後二年後にはウント咲いて、また時期長日續くだらふから愈よ櫻の名所となる譯だ

寄附

滿鐵醫院レントゲン科金桶豊吉氏は今回安へ轉勤に際し金二十圓を西廣場小學校父兄會へ寄付した

弓道部も決定

オール新京弓道部本八年度スケジユールは左の如くである

一、北滿弓道聯盟會、公主嶺、四平街以北各支部十人對抗優勝旗爭奪戰 春期六月第一日曜の豫定 秋期九月第四日曜の豫定
一、全滿弓道大會 大連弓道本部に於いて各支部五人對抗優勝旗爭奪戰、十月第四日曜の豫定
一、秋期大會 九月第三日曜の豫定
一、各地弓道支部に案內狀を發し參加せしむ
一、新京神社祭典奉納競射會 春祭五月十五日、秋祭九月十五日
一、例會 每月一回第二日曜

通信網完備で萬全を期す匪賊剿滅

高粱繁茂期まで骨幹的設備

軍政部の作戰成る

全滿の匪賊は今や其影をひそめたるが本年の高粱繁茂期に徹動ながらしむべく滿洲國軍政部では對策を練りつゝあるが其の一つの作業として各省の清鄕局を利用し全滿に亘り有線及無線の通信網を整備して情報及剿匪作戰の迅速を期する如く計畫中である、特に無線通信網に關しては省行政上の要求と省警備上の要求とを調和する外滿洲國が大戰に臨む場合の日滿共同防衛上の着眼をも加へ大規模に設置せられる筈である、之が完成には約一年を要する見込だが高粱繁茂期までに骨幹的設備だけは之を完了する由である

松風軒榮樂今夜開演

一聲千兩、一節萬兩と評される浪曲關東派の巨兵松風軒榮樂が十八日から三日間長春座で開演する、大連では浪曲愛好家非常な歡迎を受けたさうで十八番は南部坂村上喜劍、勝田新左衞門など義士傳入場料は前賣は各等二十錢引であると

▲曙の笑子、最近いと旦那が出來たので〇〇の彼氏ペチヤンコ、彼氏に尋ねて見たら愛嬌な面持でそれが當然だと

男性的な諦の言葉を吐いてゐましたが彼の心中、如何に▲バー上海のカフ子、以前奉天でいきなお筷を取つてゐた人だけにオモキがゐがらとしても朗らかになるが近頃春の芽生と共にオーさんとの戀が芽ぶし、今日は西公園あすは長春座と春を樂んでゐる▲二笠に現はれたハルミ、京城の一馬カで艶名を馳はれてゐた人內氣で溫順な家庭的な女ですよカフエー雀が騷ぐ事でせう

興味ふかき 春の六大學リーグ戰

六大學の新陣容と優勝豫想

〔東京十六日發國通〕春のリーグ戰も愈々法政對立教戰で今シーズンの幕を開かれたがるて一シーズン制實施の結果一校に對する試合のチャンスが春は一回に限られて了つた今シーズンの勝敗は何う動くか、一般の豫想は慶應に向つて居るが試合前に持つ一週間以上の餘裕と投手の出來榮え如何でゲームの結果は何う變轉するとも計られないので、この點大いに興味が加はつたといふべきである、これに加へて此兩數シーズンの間大投手の出現が少く各チームとも此の點に多大の注意を拂つて居た結果から各大學とも投手力の點では相當豐富な内容を持つに至つたから激しい投手戰が行はれる事は十分豫想する事が出來る

□貫祿充分の慶應　優勝の最も有力な候補と言はれてゐる慶應は此の點でも岸本、灰山の二投手に三宅と言ふ絶好な救助投手を持つてゐる、これに加へて中村、山下井川、小川、堀、水谷、勝川等の打力と守備を考へるとこのチームが優勝候補たる貫祿は十二分にある

□早大も次第に充實　今春の早大は此の冬の練習で不安を感ぜられて居た投手圍に阿部、若原を加へ得た結果夫馬、中島、岡見、小林、佐藤、竹谷、三原等の脚と打力を加へて慶應に拮抗する力を得て早慶戰は再び大接戰が豫想されるに至つた

□法政の痛手　昨秋の優勝候補法政は久保、苅田を失つた事が今春の大きな痛手で殊に主戰投手若林が打者が凡打で料理する投手であつて見れば此の穴は一層大きなものとなる、此の難點を埋める爲に殘されて居る者は稻田、笹原、中村、矢野、客野宮武等でこの處置と結果は興味がある

打力は四番打者成田を殘して居るが、やゝ物淋しい事は否めない、要するに攻守のバランスで優勝を整得したチームが、その平衡を失して居ると言ふのがこのシーズンの法政である

□新人に期待する明治　明治はこの二シーズン不運續きであるが、今シーズンも今一度この苦しみを續けるのではあるまいかと思はれる、投手は八十川に田所の進境それに山脇も居るが、このチームも法政同樣遊擊と三壘に難がある、眞野の後を矢野で埋め三壘に鈴木をと言ふのが今シーズンの陣容と見られるが矢野の問い動きに何處迄期待を持てるかは疑問である、此のチームに期待する所は昨年集めた新人逹の活躍と、機に臨み、變に應じる岡田監督の斷引の二點がある

□立教更生の希望　優勝からテール・エンドへと激しい顚落を見せた立教は投手圍では菊谷兩野の左右兩投手を得た事で動かす可からざる強味を恢復した最近のニュースは高野の病氣を報じて居るが、その出場は當然期待出來る、菊谷の大きなドロップとシャープな速球は最も大きな賴みである、望む所はこの投手に山城級の打者二、三を加へる事と遊擊の充實にある、浦田、内田、杉田、寺內等が三大學との對戰に示した樣なリーグ戰前のハワイ及び關西打力をリーグ戰で示し得れば此のチームにも一陽來復の春が期待出來る

□試驗、帝大に無情　帝大は今春高橋、片桐等を失つたが、殊に弱肩とは云へ片桐を失つた、事は非常な痛手である、期待された一高時代のバッテリー千谷の入學は見られず全リームの期待を一身に集めて居る梶原に存分な投球をさせる好パートナーは今の所見當らないと云つて過言でない三高の橋本が入學出來なかつた事も中堅淺原の卒業を補ふに人を缺く、今春の帝大はたゞ梶原の強肩と逸體あたりに打力の芽が吹く事を期待するのみで、優勝への道は些か遠きに過ぎる

母國見學 高女生旅行記

第十二信

勝木良子　高山和子

四月八日奈良—吉野迄

眠い處をたゝき起され名殘惜しく居を離れたのが午前六前半お天氣は意地惡くも雨模樣ぶつ〳〵云ひつゝ仕度をすまし氣持の良い朝の空氣を猿澤の池畔にて吸込むこのあたりまで舞ひ込んで來たらしい鹿の群にたはむれ乍ら出發をまつ、午前九時愈々市内見學に出掛ける親切想なおぢいさんの案内で猿澤の池についての傳へ話を面白く聞く、多くの鹿の群にたはむれ乍ら三作石子詰に着く有名な傳説のあるため尙面白く眺められた無量壽院智香觀音樣をお祭りしてゐる大門堂に十三鐘を訪ねたりして迦つて見た

此所を出て春日神社へお參りす步く處何所に於ても鹿の群に會はぬ事は無いおせんべいをあたへて喜ばせたりおじぎを何回もさせて嬉しがつてみるものも等樣にである鹿の寢處角を切る場所を見學すそれより右の方へ降り行くと白鹿社があり此所には勅使も下車するといふ事である感心しつゝ此所をすぎ夫婦大國社へお參り此所には大國主命すせり姬の命の御二方お祭りしてあると云ふ事大本を左右に見たる天然記念物春日神社境内竹柏樹林を見學した此に聳え立つて居る所の杉楠の木も何の木も共に何千年も壽命を持つてゐると聞く危まれた天候も遂に細雨となつた春雨に濡れつゝ雨宮若水に參る、其處をすぎ本殿に行つておまいりする一、二、三、四殿と有り

立派な結構であつた此の社は二十一年每に改築すと云ふ事である此所を一寸出ると春日神社御寶物かあり物珍らしく眺めた御寶物殿に向ひ合て七種寄木が植えられてあつただら〳〵とおりると道の兩側に一面にあせびの花が咲き亂れていた、降り來て三月堂に着く校庫式の經堂を見て天平の昔しを偲ぶ私逹よりも大きい學校の生徒らしいのがキャア〳〵騷ぎ乍ら寫眞をうつして居た、案内人の説明を成程とうなづき乍ら見入つた、それより三笠のふもとに行くふもとにて鹿を前に紀念寫眞をうつす其より頂上へ近い樣でも登つて見ると仲々遠い、やつとの事で頂上へ辿り着き重い足を引延ばす

五分間位休息だ汗を拭きながらアイスクリームの味は忘れられぬだら〳〵ふもとの道を通り途中御地名物のほうちようナイフはさみ等の器具類を見る、其より大佛樣におまいりす道すがら天平時代の鎌倉時代のお堂を見るN先生の手によつて、その大きな鐘は鳴らされたい、ゴーン此が夜静かな時であつたらと思はずに居られなかつた、愈々大佛樣うはさに違はずの大佛樣感心しながら眺める其に此の長さ大さが實物より之でも半分位縮まつて見えて居ると云ふには驚いてしまつた、それから運慶端慶の仁王さんのある南大門に出る

興福寺の五重塔を背景に草原で再び紀念寫眞をうつす、それより懷しの猿澤ケ池に舞ひ戻り旅館に辿り着く

重い足をひきづりつゝ松島に晝食のために入る私逹は午前中のあるきつゞきの見學のために綿の樣につかれて二階の部屋に上つたきり動く事さへも出來ない騷ぎだ、

午後一時まで自由に驛に集合する事にして解散してしまつた鯉にふをあげる時の面白い事、今までは本によんだり雜誌の圖繪にある樣な光景を今日は實際に自分で行つたのかと思ふと何だか誇らしい樣な氣がする

ブラリ〳〵と驛まで行く、昨夜は隨分永い樣に思へた道も騷ぎ乍ら行くせいか近い樣に思はれる一時十四分奈良驛の汽車にて畝傍に着いた畝傍から吉野鐵道に乘て「橿原神宮前」といふ長つたらしい驛で電車をすて、神社に向ふ堺内は今までに參拜した神社や寺院よりも一番に神々しく、如何にも人皇第一代の天皇樣をお祭りして有る社らしく思はれた。此の御社は神武天皇樣が此處に都をお定めになつて皇居をお築きになつたそのまゝにその場處が橿原神宮となつて有るとの事である。一同最敬禮をして御社に別れを告げる。次には神武天皇の御陵に向ふ。何時もは短く思はれる道かも知れない。けれども春雨にけむるせいか、暑い上に重い荷物を持つてゐるのでそのきつい事といつたらお話にはならない。途中堂々とした櫻川といふ名の川に出る所か名の美しいのに反して一尺五寸位の巾に濁つた汚ない水が入つてゐる。流れといふには余りにもつたいない位の川だ御陵についた此處にも神宮と同樣に神々しい。雨が降てゐるので木の下雨のあたらない處で十分はかり休憩して神宮驛前に向ふ。其所には櫻が咲いておりさすがに吉野に近いと思はれる。五分間乘つて久米寺に着きやつとお隣の男の子がのいたと思つたらば「終點でございます」と來る。

「小さな男の子でも私逹より良く知つてゐる」といふので大笑する。吉野行に乘つてほつとする。此處等の驛の名は、隨分長つたらしいので珍らしいと思ひ先生におうかがひすると「鐵道省に驛の名は同じのが二つあつてはいけない例へば「大和上市」「上市」といふ處がもうすでにあるのでと「やまと」とつけたのだ」とお教へ下さつた五十分程して吉野驛につく。先づ眼についたのがケーブルカー。兩側には食堂とか旅館とか休息處とかがずらりと並んでゐる然し櫻の花が咲いてゐなかつたのはかへす〴〵も殘念に思ふ。山中にある旅館に、行く。山の上をのぼり始める。三笠山にのぼり又吉野登山今度の旅行中一番の難所、それでも殿は先崎先生が承つて吉野ホテルに着く強行軍への同情か明日は十時迄ねてゐていゝ事になつてゐるほつとしてバンザイと叫ぶ

部屋の前のベランダにて中の千本を見下してお話がはずむ咲いてゐる花のありかや藏王堂以上(大阪にて)

輸入組合加盟店　時計と装身具　森洋行　新京中央通ロハ　TEL 3873

ホームラン王 ポン助　(二十一)

1 シカタガナイカラ コノ ビアダルノ ナカデ カラダゴト……。

2 アラツテヤロウ ポンスケ キレイニ ナツタカイ。

3 アリガタイ オカゲサマデ キレイニナツタゾ ヒノヒカリデ……。

4 カワカソウ アレアレ カワイタノハイイガ コノシマツ ナサケナヤ。

海の外から

□火山探訪用の甲冑衣　フランスの鑛山技師アーバーカーナー氏は活火山の探訪に要する甲冑衣を發明した、鋼鐵製の部厚な腔部迄ある圓筒形の長衣で溶岩が飛來しても人命は安全で、伊太利等の火山國では探訪に或は撮影に大いに役立つ

□時速廿五哩のモーターボート　米國ニュージャーシーの某愛艇家は、此の程時速二十五哩のモーターボートを造り上げた、疾走中は全艇が水をかぶる爲め自轉車樣のハンドルとサドルを設備してあるだけで乘り心地百パーセント

□救命シーソー　加州大學醫學部では救命シーソー具を發明した、窒息者に酸素吸入後身体をシーソーに移し一定率の上下運動で呼吸を回復さす仕組み

鮮魚小賣相場

種別	値段	種別	値段
活鯛	一六〇〇	氷鯛	五一五〇
チヌ鯛	二二九〇	レンコ	四三〇〇
アマ鯛	三一一六	マグロ	四一〇八
ラベ	八六五五	ブリ	一〇
ヒラス	二二二〇	サワラ	五三〇〇
カキ	五	星カレ	一一五三
ヒラメ	八六五五	ボラ	一〇
キス	一一九八	ハゲ	二〇
オコゼ	一九	ムツ	一一六二
サヨリ	五三〇〇	マナカツ	七六
フカ	五五	ハマグリ	四五
シジミ	三	メバル	五
タコ	一六	イヒタコ	二一〇二
甲イカ	二一五五	イセエビ	二一一〇
車エビ	二二九四	アナゴ	二一四〇
貝柱	一九	ナマコ	一九
アワビ	三三六〇	カマボコ	一四九

野菜相場

新京市場小賣相場表　四月十八日「菜果之部」

種別	値段	種別	値段
白菜	四八	蓬蓮草 大連物	一一〇一
サツマ芋	三四	里芋	〇一八〇
山芋	〇一八〇	赤芋 内地	一五
ツクネ芋 内地	一二五〇	牛蒡	〇〇四五
蓮根	一一四六	白大根「大連」	〇〇六八
丸大根	〇六	赤大根	〇六
玉葱	〇〇九八	人参	三二〇〇
生姜	一二二〇	ウド	二三〇〇
ワサビ	一六五〇〇	内地葱	〇一八〇
玉菜	〇〇四五	カブラ 大小	一〇
馬鈴薯	〇〇二三	水菜 同	〇八
ユリ芋	二五五〇	ミツ葉 大小	〇二五〇
セリ 内地	一五	ワケギ 内地	〇五

廣告

苺 大連 〇三二　林檎 一〇三　天津梨 一二五　ネーブル 四〇二　苺 内地 〇一五二　内地梨 一八　ミカン 一五　西瓜 二〇二

變幻黒船往來

禁轉載上映及上演

(作) 寺島柾史　(畫) 布施長春

第六十回

黒船の難題 (六)

あくる朝、小樽勤番所の佐々木宇太夫はじめ例の如く目附一騎、徒目附二人、その他徒士、小頭、足軽、在住足軽の一團が高島の出張番屋へ物々しくやつて來た。

頭役、目附兩名は、けふの會見準備のためにすぐ番屋内に姿を消したが、徒目附に支配された徒士足軽のたぐひは、ずらり濱邊へ立並んで、沖の黒船の亂暴な交渉委員たちを待うけた。

その一團のうちに、どうしてまぎれ込んだものか、日和待泊所に逗留中の格之進がまじつてゐたのはふしぎだ。もちろん、在住足軽の一人として小さくなつてゐるが、いかに醜面でも、にしんくさい猫背の不格好な在住足軽とは、さすがに趣きを異にしてゐる。

格之進は他の足輕たちとは一言もかはさず、ひとり離れて砂地に突立つたまゝ、辨天島内ふところの黒船を凝視してゐる。その格之進の眼は血走つてゐた。

——おのれ……けふこそは彼奴の面の皮をヒンむいてくれるぞ。

新しくよみがへつてくる憤りだ。春以來の積りにつもつた恨みを、けふこそこゝで晴らさうといふ格之進だつた。が、亂暴な交渉委員の一行はなか／＼やつてこない。かはりに濱邊に立ならぶ徒士足輕たちのあひだにも、そろ／＼倦怠がやつてきた。晩夏の太陽の直射をうけて、さすがに彼等も熱砂の苦しみを覺えはじめた。彼等はその倦怠からのがれようとして頻りに雜談を交してゐる。

『奴等何をしてくさるのだらう』

『毛唐の士官は、あれで仲々おしやれだといひますぞ』

『何アに、われ／＼がかうして濱邊に立つてゐるので、怖毛立つてゐるのでせうよ』

『けふは、なんでも司令官のモリエール少將がくるさうだから、それで長引いてゐるのでござらう』

『そのモリエール少將が美しい孔雀のやうな洋妾を黒船に圍つてるといふ話ですぜ』

『ほう、孔雀のやうな洋妾？……なるほど、けふの出張は遲い道理だわい』

『おや、どうして？』

『毛唐の士官はおしやれのうへにたいへんな色好みだと聞いてゐるが、下船間際にもその洋妾を抱く事を忘れンのでごわせう』

『へゝゝゝ。お主は見て來たやうなことを吐すが……』

『いや、いつかのう、ニゴリナイの鍛冶小屋の親父が見て來ての話さ。人の見る前でも臆面もなく接ぷんとやらをするさうぢや』

『まつたく、その色好みな點は、ほんとうですぜ。わしも箱館濱の濱田屋の舟子をやつてをつた時分メリケン國の士官、水兵たちを見て來たが實にあきれた犬どもさ。會所町邊りをうろついて、逢ふ女ごとに手を握るわ。追つかけて接ぷんをするわ、いやどうも言語道斷のありさまだつたよ』

『ところで、これも、鍛冶小屋の親爺に聞いた話だが、その孔雀のやうに美しい洋妾は、かれこれ半年は黒船に乘つてゐるが、どうでも司令官のいふことを諾かぬといふ話さ。振つて振つてふり拔いてゐるといふのさ』

『へーえ、そいつア話せる。さすがは大和撫子だ。』こんな暇潰しな雜談を聞くともなしに耳にしてゐた格之進は、そのときづか／＼と一同の傍へやつて來た。

『その洋妾の話といふのは事實でござるかな。』鍛冶小屋の親父の話を吹聽する足輕にむかつて息をはづませながらたづねた。

『さうですよ。まつたく、その振つてふり拔いてゐるといふことですよ。』格之進の態度物腰が、あまりに急迫してゐたので、その足輕は辯解でもするやうに早口にしやべり立つた。そのとき他の一人がとつぜん叫んだ。

『おゝボートが黒船を離れたぞ』

それで格之進の質問の腰が折れてしまつた。